

週刊 女川湾海況速報 (No.43)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

5 月 13 日から 5 月 17 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で上昇し、9～12℃台を示した。経時的には表層（0m）で16日まで上昇した後、17日には下降。塩分は先週と比較して全層で下降し、13日と14日の底層（5m）以外は32PSU以下の低い値を示した。

水深 [m]	5月13日 (月)	5月14日 (火)	5月15日 (水)	5月16日 (木)	5月17日 (金)
0	9.9 (30.3)	10.7 (31.1)	11.1 (31.3)	12.1 (31.4)	11.5 (31.0)
5	9.8 (32.2)	9.1 (32.7)	10.9 (31.7)	10.5 (31.8)	10.4 (31.9)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はPSU（実用塩分単位）。*16日と17日は水深6mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には期間を通じて底層で上昇傾向にあり、14日以降に1.0FTU以上の高い値を示した。（単位はFTU）

水深 [m]	5月13日 (月)	5月14日 (火)	5月15日 (水)	5月16日 (木)	5月17日 (金)
0	1.0	0.8	0.9	0.9	1.0
5	0.9	1.0	1.3	1.3	1.6

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、9～11mg/l台を示した。経時的には13日に全層で11mg/l台を示したあと下降し、14日以降に9～10mg/l台を示した。

水深 [m]	5月13日 (月)	5月14日 (火)	5月15日 (水)	5月16日 (木)	5月17日 (金)
0	11.5	9.9	10.7	10.9	10.3
5	11.4	10.6	10.9	10.8	10.7

単位はmg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l以上。

St.1の結果

水温、塩分はそれぞれ7.1～11.1℃、31.3～33.4PSUの範囲にあり、鉛直的に水温は水深とともに下降したのに対し、塩分は上昇。濁度は0.8～2.3FTUの範囲にあり、底層（20m）で最大。溶存酸素は9.6～12.7mg/lの範囲にあり、底層で最小。

5月15日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	11.1	31.3	0.8	11.7
5	11.0	31.5	1.4	12.1
10	8.5	33.1	1.3	12.7
15	7.5	33.3	1.1	11.5
20	7.1	33.4	2.3	9.6

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室
Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。